

BSN 8X82-A1406

SEIKO

ASTRON



GPS<sup>®</sup>  
SOLAR

8X82

ハンディ マニュアル

SEIKO WATCH CORPORATION

< 日本語 >  
AST-1

Printed in Japan

「GPS」は、セイコーホールディングス株式会社の登録商標です。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、  
正しくご愛用くださいますよう、  
お願い申し上げます。

詳しくは、セイコーウォッチホームページ内にある  
サポート情報>取扱説明書「8X82」  
(<http://www.seiko-watch.co.jp/support/download/>)  
をダウンロードしてお読みください。

※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。ご贈答、  
ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、  
弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では  
有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。

※商品に傷防止用の保護シールが貼られている場合があります。  
必ずはがしてお使いください。貼られたままにしておくと、汚れ、  
汗、ゴミ、水分などが付着してさび発生の原因となります。

## 目次

1. 特長 .....	3
2. 各部の名称 .....	5
3. エネルギー残量を確認する .....	7
4. タイムゾーンについて .....	9
5. タイムゾーン表示と時差一覧 .....	11
6. タイムゾーン修正 .....	13
7. 手動タイムゾーン選択 .....	15
8. DST(サマータイム)の設定 .....	17
9. 強制時刻修正 .....	19
10. 飛行機に乗るとき(機内モード✕について) ...	21
11. ストップウォッチの使いかた .....	23
12. うるう秒について(うるう秒自動受信機能) ...	25
13. 受信結果表示 .....	27
14. タイムゾーン修正、または強制時刻修正ができないときは...	29

# 1 特長

■ この時計は、GPS 衛星からの電波を受信し、地球上のどこにいてもすばやくその場所の正確な時刻を表示します。

GPS 衛星電波受信	ソーラー充電	スマートセンサー（自動時刻修正）
<p>世界中どこにいても、ボタン操作ひとつで* 現在地の正しい時刻に合わせることが できます。</p> <p>* DST (Daylight Saving Time = サマータイム) は手動対応</p> <p>GPS 衛星からの電波を受信し、すばやく時刻を合わせます。世界の全タイムゾーンに対応しています。時計を使う地域、タイムゾーンが変わったときは「タイムゾーン修正」の操作を行ってください。</p> 	<p>ソーラー充電で動きます。</p> <p>文字板に光を当てて充電してください。 フル充電で約6ヶ月間動きます。</p> <p>エネルギー残量がなくなったとき、フル充電するには時間がかかるため、こまめに充電をするように心がけてください</p> 	<p>スマートセンサー（自動時刻修正）</p> <p>ご使用の行動パターンに合わせて、 自動で時刻修正を行います。</p> <p>外出時に明るい太陽光を感知したとき等は、自動で GPS 衛星の電波を受信します。ご使用中にもお客様が意識することなく、常に正しい時刻に合わせられる機能です。</p> <p>※ 充電量が不足しているときは受信を行いません。</p> 

## ■ 充電にかかる時間のめやす

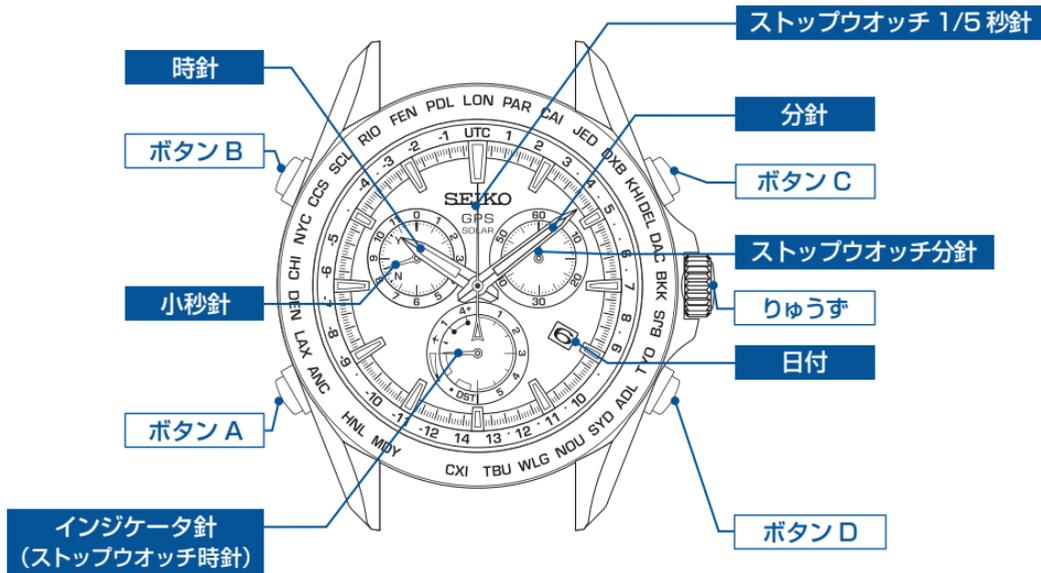
GPS 電波受信を行うと、たくさんのエネルギーを消費します。こまめに光を当て、インジケータ針が「中くらい」または「十分」になるように充電することを心がけてください。（エネルギー残量が「少ない」になると、GPS 電波受信の操作をしても受信がはじまりません。）

照度 lx (ルクス)	光源	環境 (めやす)	時計が止まっている (充電されていない) 状態から		運針している (充電されている) 状態で
			フル充電まで	確実に1秒運針になるまで	1日ぶら動かすには
700	蛍光灯	一般オフィス内	—	—	3.5 時間
3000	蛍光灯	30W 20cm	420 時間	12 時間	1 時間
1 万	太陽光 蛍光灯	くもり 30W 5cm	115 時間	4 時間	15 分
10 万	太陽光	快晴 (夏の直射日光下)	50 時間	1.5 時間	10 分

「確実に1秒運針になるまで」の数値は、止まっていた時計に光をあてて、確実に1秒運針になるまでに必要な充電時間のめやすです。この時間まで充電しなくても1秒運針になりますが、その状態ですくも2秒運針になることがあります。この時間をめやすに充電してください。

※ 充電に必要な時間は、モデルによって若干異なります。

## 2 各部の名称



### 3 エネルギー残量を確認する

インジケータ針の位置で、この時計が受信ができる状態が確認できます。

また、エネルギーが少ない状態については、小秒針の動きによって、より詳しくエネルギー不足の程度を確認することができます。

受信  
できる状態

受信  
できない  
状態

インジケータ表示	エネルギー残量	このようにしてください
	十分	受信できる状態です。このままご使用ください。
	中くらい	受信できる状態です。充電を心がけながら、ご使用ください。

インジケータ表示	小秒針の動き	エネルギー残量	このようにしてください
	1秒運針 	少ない	受信はできませんが、時計を動かさずエネルギーはあります。受信ができるように、少なくともインジケータ針が「中くらい」になるまで充電をしてください。
	2秒運針 		受信ができない上に、時計を動かさずエネルギーも不足しています。(エネルギー切れ予告機能働いています)
	5秒運針 		
	—	機内モード(✕)のため、エネルギー残量は表示されません。	機内モード(✕)を解除できる環境であれば、機内モード(✕)を解除してください。 インジケータ針が「少ない」を指している場合には、充電を行ってください。

※ GPS電波受信を行うには、たくさんのエネルギーが必要です。こまめに光を当て、充電することを心がけてください。

# 4 タイムゾーンについて

## □ タイムゾーン

世界各地には協定世界時(UTC)を基準にして、その国や地域で共通して使用する標準時があります。標準時は国や地域により決められており、同じ標準時を使う地域全体をタイムゾーンと言い、現在40のタイムゾーンに分かれています。

## □ DST(サマータイム) : Daylight Saving Time = デイライト セイビングタイム

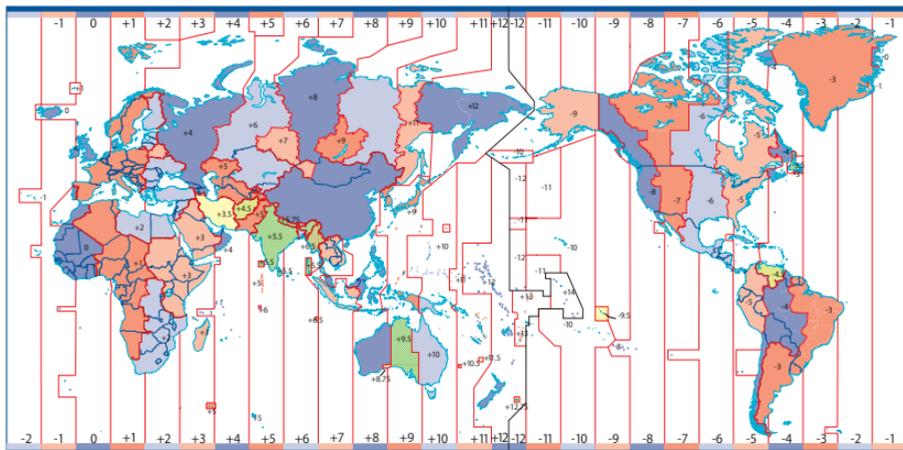
地域によっては個別に[DST(サマータイム)]が設定されています。サマータイムとは、夏時間のことです。夏の日照時間の長いときに、時刻を通常1時間進めて昼間の時間を長くする制度です。DST(サマータイム)の実施期間は、実施地域や国によって様々です。

※各地域のDST(サマータイム)は、国または地域の都合により変更される場合があります。

## □ 協定世界時(UTC) : Coordinated Universal Time = コーディネイテッドユニバーサルタイム

UTCは国際協定により定められた世界共通の標準時です。全世界で時刻を記録する際に公式な時刻として使われています。天文学的に定められた世界時(UT)とのずれを補正するため、世界中にある原子時計を元に決められた「国際原子時(TAI)」にうるう秒を加えて、調整をした時刻がUTCとなります。

※各地域のタイムゾーンについては、2014年1月時点でのデータに基づいております。



※各地域のタイムゾーンは、国または地域の都合により変更される場合があります。

# 5 タイムゾーン表示と時差一覧

ベゼルやダイヤルリングなどの表示はUTCからの時差の関係を表しています。

手動タイムゾーン選択をするときに参考にしてください。

★印の地域ではDST(サマータイム)が導入されています。

☆オーストラリア領のロード・ハウ島ではサマータイム実施時、30分時刻を進めています。この時計はロード・ハウ島のサマータイムに対応しています。

※各地域のタイムゾーン及びDST(サマータイム)の導入については2014年1月時点のものです。



## タイムゾーン表示

代表都市名……世界の全タイムゾーンのうちの29都市  
時差……………+14~-12時間

## UTC時差表示

都市表示とUTC時差表示はモデルによって異なる場合があります。時差表示の数字の間に「・」は、その位置にタイムゾーンが存在することを示しています。

都市表示	UTC時差表示	都市表示名(タイムゾーン)	UTCからの時差	都市表示	UTC時差表示	都市表示名(タイムゾーン)	UTCからの時差	都市表示	UTC時差表示	都市表示名(タイムゾーン)	UTCからの時差
LON	UTC	★ロンドン/UTC	0時間	BJS	8	北京	+8時間	HNL	-10	ホノルル	-10時間
PAR	1	★パリ/★ベルリン	+1時間		・	ユークラ	+8.75時間		・	マルケサス諸島	-9.5時間
CAI	2	★カイロ	+2時間	TYO	9	東京	+9時間	ANC	-9	★アンカレッジ	-9時間
JED	3	ジッダ	+3時間	ADL	・	★アデレード	+9.5時間	LAX	-8	★ロサンゼルス	-8時間
	・	★テヘラン	+3.5時間	SYD	10	★シドニー	+10時間	DEN	-7	★デンバー	-7時間
DXB	4	ドバイ	+4時間		・	☆ロード・ハウ島	+10.5時間	CHI	-6	★シカゴ	-6時間
	・	カブール	+4.5時間	NOU	11	ヌーメア	+11時間	NYC	-5	★ニューヨーク	-5時間
KHI	5	カラチ	+5時間		・	ノーフォーク島	+11.5時間	CCS	・	カラカス	-4.5時間
DEL	・	デリー	+5.5時間	WLG	12	★ウェリントン	+12時間	SCL	-4	★サンティアゴ	-4時間
	・	カトマンズ	+5.75時間		・	チャタム諸島	+12.75時間		・	★セント・ジョンズ	-3.5時間
DAC	6	ダッカ	+6時間	TBU	13	ヌクアロファ	+13時間	RIO	-3	★リオデジャネイロ	-3時間
	・	ヤンゴン	+6.5時間	CXI	14	キリスイマスイ島	+14時間	FEN	-2	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島	-2時間
BKK	7	バンコク	+7時間		-12	ペーカー島	-12時間	PDL	-1	★アゾレス諸島	-1時間
				MDY	-11	ミッドウェー島	-11時間				

# 6 タイムゾーン修正

※ ストップウォッチ作動中は受信機能が働きません。

## ■ タイムゾーン修正について



世界中どこにいても、ボタン操作ひとつで\*今いる場所のタイムゾーンを特定し、現在地の正しい時刻に合わせることができます。

\* DST (Daylight Saving Time = サマータイム) は手動対応

## ■ タイムゾーン修正のしかた

### 1 受信しやすい場所へ行く

空が見えて視界が広い屋外などへ移動します。



### 2 ボタンBを押し続けて(6秒)小秒針が30秒位置に移動したら離す

※ ボタンBを押して3秒後に小秒針は0秒位置に移動しますが、そのまま押し続けてください。

小秒針が30秒位置に移動して受信がはじまります。インジケータ針は「4+」を指します。



※ インジケータ針が「少ない」または✂を指しているときは受信の操作をしても受信が始まりません。「少ない」を指しているときは、光をあてて充電してください。

✂を指しているときは、機内モード(✂)を解除してください。

### 3 時計を真上に向けたまま待つ

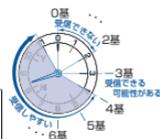
※ 移動中は受信しにくくなる可能性がありますのでご注意ください。



受信終了までにかかる時間は、最長2分です。  
※ 受信の状況によります。

<受信中の表示(捕捉衛星数)>  
小秒針が受信のしやすい(受信中のGPS衛星の数)を示します。

※ 捕捉衛星数が多いほど、受信しやすい状態です。



※ 表示が4基以上を示しているても、受信できない場合があります。

※ 受信をキャンセルさせるときは、ボタンAを押し続けてください。



### 4 小秒針が「Y」または「N」を指したら、受信終了

受信結果が5秒間表示されます。その後、時分針が動き、時刻・日付が合います。(タイムゾーンの設定も今いる場所になります。)

受信結果表示	Y: 成功 (52秒位置)	N: 失敗 (38秒位置)
表示		

※ 日付が動いている間は、ボタンの操作はできません。

※ DST(サマータイム)の設定は手動で行ってください。

## タイムゾーン修正に関する注意事項

タイムゾーンの境界線付近でタイムゾーン修正を行うと、隣接するタイムゾーンの時刻が表示されることがあります。これはしくみ上起こりうること、故障ではありません。その場合には手動タイムゾーン選択でタイムゾーンの設定をしてください。陸路の移動途中でタイムゾーン修正を行う際はタイムゾーン境界付近を避け、出来るだけそのタイムゾーンの代表的な都市で行うようにしてください。また、タイムゾーン境界線付近で使用するときは、必ずタイムゾーンの設定を確認し、必要に応じて手動でタイムゾーンの設定を行ってください。

# 7 手動タイムゾーン選択

## ■ 手動タイムゾーン選択について

タイムゾーン修正ができない場所では、手動でタイムゾーンを設定できます。

## ■ 手動タイムゾーン選択のしかた

### 1 りゅうずを1段引きます

ストップウォッチ1/5秒針が動いて、現在設定されているタイムゾーンを表示します。



### 2 りゅうずを回してストップウォッチ1/5秒針を目的地のタイムゾーンに合わせる

りゅうずを回すとストップウォッチ1/5秒針が動き、となりのタイムゾーンに移動します。



りゅうずを右に回すと+1タイムゾーン移動します。

りゅうずを左に回すと-1タイムゾーン移動します。

<インジケータ針の表示>  
DST (サマータイム) の設定または解除を表示しています。

DST	解除	設定
表示		
針位置	・	DST

### 3 りゅうずを戻す

ストップウォッチ1/5秒針が0秒に戻ります。インジケータ針は、エネルギー残量表示に戻ります。

※ 日付が動いている間は、ボタンの操作はできません。



## 8 DST (サマータイム) の設定

### ■ DST(サマータイム)の設定をする

手動でDST(サマータイム)に設定することができます。

※DST(サマータイム)の設定は自動では変わりません。

※タイムゾーン修正・手動タイムゾーン選択を行っても自動ではDSTの設定は切りかわりません。

サマータイムを実施している地域から実施していない地域に行くときは、DSTを解除してください。

#### 1 りゅうずを1段引きだす

インジケータ針がDST(サマータイム)の設定を表示します。  
ストップウォッチ1/5秒針は現在のタイムゾーンを表示します。

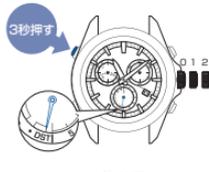
<DST(サマータイム)の設定が解除の状態>



※ストップウォッチ使用中の場合はストップウォッチがリセットされます。

#### 2 ボタンBを押し続ける(3秒)

インジケータ針が動いて「DST」を指し、時分針が1時間進みます。



※オーストラリア領のロード・ハウ島ではサマータイム実施時、30分時刻を進めています。

#### 3 りゅうずを押し戻す

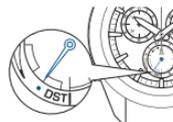
インジケータ針は、エネルギー残量表示に戻ります。  
ストップウォッチ1/5秒針が0秒に戻ります。



### ■ DST(サマータイム)の設定を解除する

DST(サマータイム)が設定されているとき①～③の操作を行ってください。

②の操作ではインジケータ針を右図の位置「J」に合わせてください。時分針が1時間戻ります。



# 9 強制時刻修正

※ ストップウォッチ作動中は受信機能が動きません。

## 強制時刻修正について



設定されているタイムゾーンの、正確な現在時刻に合わせて (タイムゾーンの変更は行いません) することができます。

## 強制時刻修正のしかた

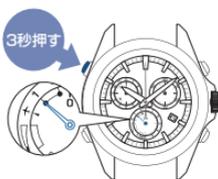
### 1 受信しやすい場所へ行く

空が見えて視界が広い屋外などへ移動します。



### 2 ボタンBを押し続けて(3秒)小秒針が0秒位置に移動したら離す

小秒針が0秒位置に移動して受信が始まります。インジケータ針は「1」を指します。



※ インジケータ針が「少ない」または「X」を指しているときは受信の操作をしても受信が始まりません。「少ない」を指しているときは、光をあてて充電してください。

「X」を指しているときは、機内モード(X)を解除してください。

### 3 時計を真上に向けたまま待つ



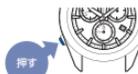
受信にかかる時間は、最長1分です。  
※ 受信時間は受信の状況によります。

<受信中の表示(捕捉衛星数)>  
小秒針が受信のしやすさ(受信中のGPS衛星の数)を示します。

※ 時刻情報のみを取得するため、受信に必要な衛星の数は1基です。

捕捉衛星数	1基	0基
表示		
状況	受信しやすい	受信できない

※ 受信をキャンセルさせるときは、ボタンAを押してください。



### 4 小秒針が「Y」または「N」を指したら、受信終了

受信結果が5秒間表示されます。その後、時分針が動き、時刻・日付が合います。

受信結果表示	Y: 成功 (52秒位置)	N: 失敗 (38秒位置)
表示		

「Y」と表示されても時刻が合わないときは、タイムゾーンやDST(サマータイム)の設定が今いる場所と合っていない可能性があります。タイムゾーンやDSTの設定を確認してください。

※ 日付が動いている間は、ボタンの操作はできません。

※ DST(サマータイム)の設定は手動で行ってください。

# 10 飛行機に乗るとき (機内モード $\chi$ について)

## 機内モード( $\chi$ )について

飛行機内など他の電子機器の動作に影響を与える可能性がある場所では、機内モード( $\chi$ )状態にしてください。機内モード( $\chi$ )状態にすると、GPS電波受信(タイムゾーン修正・強制時刻修正、自動時刻修正)がはたらかないようになります。

<機内モード( $\chi$ )状態>  
インジケータ針が $\chi$ を指している



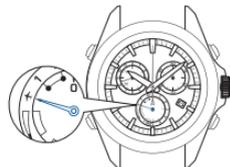
※機内モード( $\chi$ )が解除されると、インジケータ針はエネルギー残量を示します。

## 機内モード( $\chi$ )状態にする

### 1 ボタンAを押し続ける (3秒)

インジケータ針はエネルギー残量を示しています。

インジケータ針が $\chi$ を示します。

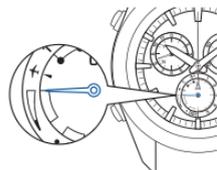


機内モード( $\chi$ )状態になると、インジケータ針は「エネルギー残量」を示しません。

## 機内モード( $\chi$ )状態を解除する

飛行機から降りた場合などは機内モードを解除してください。解除しないとGPS電波受信が行えません。

①の操作を行ってください。  
インジケータ針が右の図の位置「エネルギー残量表示」を示すと、機内モード( $\chi$ )が解除されます。



※エネルギー残量が「十分」の場合の例

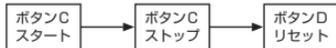
# 11 ストップウォッチの使いかた

※ ストップウォッチ作動中は受信機能が働きません。

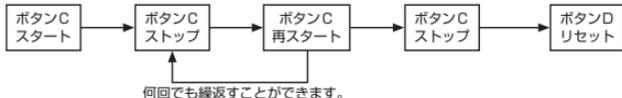
## ■ ストップウォッチの基本機能について

- ・1/5秒単位で最大5時間59分59秒8まで計測および読み取りができます。
- ・3本の針で表示します。6時間経過後、ストップ・リセットします。
- ・ストップウォッチ1/5秒針は、最大10分間作動後、0秒位置で留まります。スプリットまたは、ストップ操作があると、その秒を表示します。

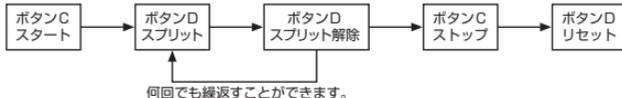
## ■ 通常の使用方法



## ■ 時間計測を積算で行なう場合

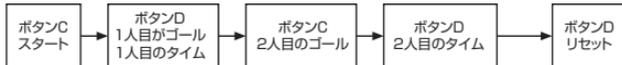


## ■ 途中経過(スプリットタイム)を計測する場合



※「スプリット」状態で、計測時間が6時間になると、自動停止がはたらきます。スプリットは解除され、「0時間0分0秒」に戻ります。その後、インジケータ針は、エネルギー残量表示に切り替わります。

## ■ 2人のタイムを測定する場合



## ■ ストップウォッチのリセット方法

- ・ストップウォッチ針が動いている場合、
    - ① ボタンCでストップ
    - ② ボタンDでリセット
  - ・ストップウォッチ針が止まっている場合、以下の3つの場合があります。

【ストップ状態で止まっている】

    - ① ボタンDでリセット

【スプリット表示でストップウォッチが計測中】

    - ① ボタンDでストップウォッチ針が早送りし、その後計測状態になる。
    - ② ボタンCでストップ
    - ③ ボタンDでリセット

【スプリット表示でストップ状態】

    - ① ボタンDでストップウォッチ針が早送りし、その後止まる。
    - ② ボタンDでリセット
- ※ストップウォッチ時針はリセット後、エネルギー残量表示に戻ります。

# 12 うるう秒について (うるう秒自動受信機能)

## □ うるう秒について

うるう秒は天文学的に決められた世界時 (UT) と国際原子時 (TAI) とのずれを補正するためのものです。毎年～数年に1度、「1秒」挿入 (削除) されることがあります。

## □ うるう秒自動受信機能について

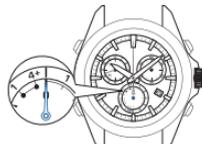
「うるう秒情報」をGPS衛星から電波を受信することにより、うるう秒の実施時刻になったときに、自動的にうるう秒が挿入 (削除) されます。

※ 「うるう秒情報」には、今後のうるう秒実施の有無の情報と、現在のうるう秒情報が含まれています。

## □ うるう秒情報の受信について (うるう秒情報受信)

6月1日と12月1日以降にGPS電波受信 (自動時刻修正または強制時刻修正) を行うと、インジゲータ針が右のような表示になることがあります。

<うるう秒情報受信中>



うるう秒情報の受信が終了するとインジゲータ針がエネルギー残量表示に戻りますので、そのままお使いください。

※ うるう秒情報の受信は、うるう秒の実施に関わらず半年ごとに行います。

うるう秒情報の受信が終了するまで、時刻修正 (自動時刻修正または強制時刻修正) 終了後、最大18分かかります。

以下の状況でGPS電波受信をしたときも、うるう秒情報の受信をはじめます。

- ・長期間、GPS電波受信をしなかったとき
  - ・うるう秒情報の受信に失敗したとき
- (次のGPS電波受信で再度うるう秒情報の受信を行います。うるう秒情報の受信が成功するまで行います。)

# 13 受信結果表示

## ■ 受信ができているか確認する

GPS電波受信(時刻修正またはタイムゾーン修正)やうるう秒情報受信の結果(成否)を5秒間表示します。

### 1 ボタンBを1回押して、離す

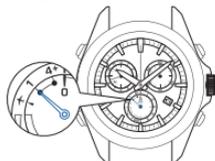
小秒針とインジケータ針が受信結果を表示します。

一回押して  
離す



### 2 受信の結果が表示される

小秒針がGPS電波受信(時刻修正またはタイムゾーン修正)の結果を表示します。インジケータ針は、その時の受信方法(「1」または「4+」)を指します。



※タイムゾーン修正の場合は「4+」を指します。

小秒針：受信結果(成否)

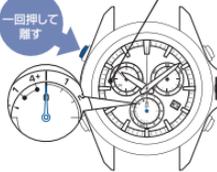
結果	成功	失敗
表示		
位置	Y: 52 秒位置	N: 38 秒位置

※5秒経過、またはボタンAを押すと時刻表示に戻ります。

### 3 2の「受信の結果」が表示されている(5秒)間に再度ボタンBを押し離す

小秒針が「うるう秒情報受信結果」(成否)を示します。インジケータ針は、「うるう秒情報受信」の「0」を指します。

一回押して  
離す



※5秒経過、またはボタンAを押すと時刻表示に戻ります。

小秒針：受信結果(成否)

結果	成功	失敗
表示		
位置	Y: 52 秒位置	N: 38 秒位置

うるう秒情報受信の結果がY(成功)になったときは

- ・うるう秒情報受信ができています。
- ・そのままお使いください。

うるう秒情報受信の結果がN(失敗)になったときは

- ・定期的に行なう「うるう秒情報受信」がまだできていない状態です。
- ・次のGPS電波受信(自動時刻修正や強制時刻修正)のタイミングで自動的に行ないますので、そのままお使いいただけます。

- ※「うるう秒情報」は、6月1日と12月1日以降に前報を受信するしくみになっています。
- ※「うるう秒情報受信」ができていない状態でも、「うるう秒の挿入(削除)」が実施されるまでは、時刻は正確です。

# 14 タイムゾーン修正、または強制時刻修正ができないときは

・タイムゾーン修正、または、強制時刻修正の操作をしても、受信機能が作動しない場合には、

主に次の3つの原因が考えられます。

- ①エネルギー残量が「少ない」
- ②機内モード (✈) 状態になっている
- ③ストップウォッチが作動している



解除するには、

- ①少なくとも「中くらい」になるまで、充電してください。
- ②機内モード (✈) を解除してください。
- ③ストップウォッチをリセットしてください。

※上記については、インジケータ針が指している位置によって確認できます。

## ②機内モード (✈) 状態になっている

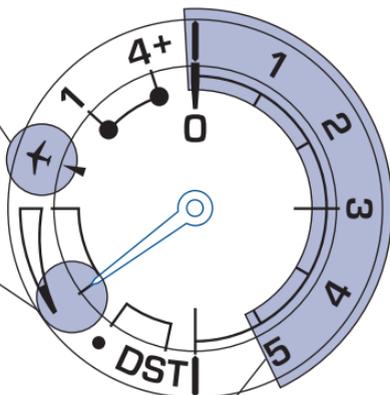
機内モード状態になっていると  
インジケータ針が「✈」を示します。  
→機内モードを解除するには P.21

## ①エネルギー残量が「少ない」

エネルギー残量が「少ない」状態では、インジケータ針  
がここを示します。  
少なくともインジケータ針が「中くらい」になるまで充電  
をしてください。  
→充電にかかる時間のめやす P.3

## ③ストップウォッチが作動している

ストップウォッチが作動していると、インジケータ針が  
ストップウォッチの「時」を示すため、「0～5(時間)」  
の位置を示します。  
→ストップウォッチのリセット方法 P.24



## 製品仕様

## MEMO

1. 基本機能…………… 基本時計(時・分・小秒針)、日付表示、インジケータ針、ストップウォッチ(時、分、1/5秒)、ワールドタイム機能(40タイムゾーン)
2. 水晶振動数…………… 32,768 Hz(Hz=1秒間の振動数)
3. 精度…………… 平均月差 ±15秒以内(電波受信による時刻修正が行なわれない場合、かつ気温5℃～35℃において腕に着けた場合)
4. 作動温度範囲…………… -10℃～+60℃
5. 駆動方式…………… ステップモーター式(基本時計の時、分、小秒針)、日付表示、インジケータ針、ストップウォッチ針(時・分・1/5秒)
6. 使用電源…………… 専用二次電池:1個
7. 持続時間…………… 約6ヶ月(フル充電で、パワーセーブが作動しない場合)  
※フル充電をした状態からパワーセーブが作動した場合は最大約2年
8. GPS電波受信機能…………… タイムゾーン修正、強制時刻修正、自動時刻修正  
※受信から次の受信までは上記クオーツの精度で動く
9. 電子回路…………… 発振、分周、駆動、受信回路:IC 4個

全国共通フリーダイヤル **0120-612-911**  
< ONLY IN JAPAN >

### お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル  
〒550-0013 大阪市西区新町1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

### セイコーウォッチ株式会社

本社 〒105-8467 東京都港区虎ノ門 2-8-10  
<http://www.seiko-watch.co.jp/>

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

